

「チーム大分」感染症対策への取組宣言

令和2年4月10日

- 私たちは、これまで企業活動を通して培った技術と経験を結集し、感染症対策に用いることが可能な機器の開発・製造に取り組み、もって人々の生命を守り、将来にわたっての健康増進に貢献すべく結集しました
- 私たちは、目下の課題である新型コロナウイルス感染症対策に資する機器の開発・製造を県内の企業を中心として「チーム大分」で取り組みます
- 私たちは、チーム結成を国内外に広く宣言し、これまで大分県・宮崎県で進めてきている東九州メディカルバレー構想の取組を通じてアジアの感染症対策に貢献します

取組内容

- ・新型コロナウイルス感染症対策に資する医療物資・機器または部品の開発・製造に取り組みます。
- ・まずは、人工呼吸器または部品の開発・製造に向けた挑戦を行います。
- ・当初は大分県医療ロボット・機器産業協議会を中心とした医工連携メンバー（下記）で構成します。なお、メンバーは固定ではなく、趣旨に賛同する企業は、県内外問わず、広く参加可能です。
- ・経済産業省（九州経済産業局）、東九州メディカルバレー構想を推進する大分県・宮崎県とも連携して進めます。

発足メンバー

リーダー トクソー技研株式会社 代表取締役社長 徳永修一
株式会社AKシステム 常務取締役 秦 吉孝
大分大学医学部附属臨床医工学センター教授 穴井博文
エステイケイテクノロジー株式会社 課長 川野健二（技術指導）
大分県医療ロボット・機器産業協議会 会長 丸井 彰（技術指導）